

8/9 朝日

「同一文書なかつた」

統幕長会談記録 防衛省が説明

防衛省は8日、自衛隊制服組トップの河野克俊統合幕僚長と米軍幹部らとの会談記録とされる文書を共産

党が提示したことについて、訪米報告の資料の存在は認められたものの、「(共産党が提示した文書と)同一

のもの存在は確認できなかった」と説明した。安全保障関連法案を審議する参院特別委員会の理事懇談会に報告した。

文書は共産党が2日の特別委で提示。4日の同委で鴻池祥肇委員長が中谷元・防衛相に防衛省が作成した文書か回答を要求していた。鴻池氏は8日の理事懇談会で、同省の文書管理について「不快感を通り越している」と批判したという。

新型輸送機オスプレイ導入への国民感情について「不安全性をおおるのは一部の活動家だけだ」と述べたりしたとの記載がある。防衛省幹部は「我々や相手の思考方法、手の内が分かるやり取りを載せた文書は絶対に外部に漏れてはいけない。しかも相手が米國。信頼関係に関わる」と話す。同省は文書の有無について慎重に検討し、並行して米國とも調整したようだ。政府関係者によると、日米共同訓練の視察で訪米中だった山崎幸二統合幕僚副長が先週末、ワシントン

を急ぎよ訪ね、米国防総省に説明をしたという。

一方、共産党の井上哲士参院幹事長は8日、記者会見で「ほぼ類似のものを防衛省が持っていることが明らかになった」などと批判。河野氏の国会招致を求めた。(二階堂勇福井悠介)